ヨーロッパ州

名前

問1　ヨーロッパを流れるライン川は、アルプス山脈を源流として複数の国の領域を通り、北海へと注いでいます。このように、関係する国々の条約に基づいて、自国だけでなくすべての国の船舶が自由に航行することを認められている河川を何と呼びますか。（2026年 埼玉県公立入試 類似）

1. 排他的経済水域
2. 領海
3. 国際河川
4. 公海

問2　イタリアのローマなどの統計を示した資料において、7月・8月の月平均気温が20度を超えてピークに達する一方で、その時期の月間降水量が年間で最も少なくなる気候区分を何といいますか。（2020年 沖縄県公立入試 類似）

1. 温暖多雨気候
2. 西岸海洋性気候
3. 地中海性気候
4. 冷帯湿潤気候

問3　古代ローマの公用語であったラテン語を起源とする「ラテン系言語」の広がりや特徴について述べた文として、最も適切なものを次の中から選びなさい。（2023年 岐阜県公立入試 類似）

1. イタリアやフランス、スペインなどの南ヨーロッパを中心に話されており、古代ローマ帝国の拡大とともに発展した。
2. ロシアやポーランドなどの東ヨーロッパで話されている言語の総称であり、正教会の文化と深く結びついている。
3. ポルトガル語はラテン系言語に含まれるが、ブラジルなどの南アメリカ諸国で話されている言語はこれとは別の起源を持つ。
4. 英語やドイツ語が代表的な言語であり、主に北西ヨーロッパから北アメリカにかけて広く普及している。

問4　ロシアの経済構造を理解する上で重要な、エネルギー資源の分布と輸送の仕組みについて述べた文として、正しいものはどれですか。（2023年 沖縄県公立入試 類似）

1. シベリアなどの内陸部にある鉱産物埋蔵地から、ヨーロッパ方面に向けて敷設されたパイプラインを利用して、EU諸国へエネルギーを供給している。
2. エネルギー資源の輸出先は主に南米諸国であり、地理的に近いEU諸国とはエネルギーに関する貿易をほとんど行っていない。
3. ロシアは石炭の輸出に特化しており、石油や天然ガスについてはパイプラインが未整備であるため、輸出額は極めて少ない。
4. ロシア国内のパイプライン網は、EU諸国から輸入した石油をロシア全土の大都市へ供給するために発達した。

問5　EUが域内における「移動の自由」を保障している主な目的と、その具体的な状況について述べた文として、最も適切なものはどれですか。（2021年 福岡県公立入試 類似）

1. 域内の物価を安定させるため、加盟国間での農産物や工業製品の輸出入に高い関税をかけている
2. 各国の伝統文化を守るため、他の加盟国から人や資本が流入することを法律で制限している
3. 国家間の格差を是正するため、豊かな国から貧しい国への資本の移動を政府が厳格に管理している
4. 域内全体の経済を活性化させるため、国境をこえて人々が就労し、企業が投資を自由に行えるようにしている

問6　ヨーロッパにおける環境・エネルギー政策に関連して、アイスランドやイタリアで広く普及している「地熱発電」の説明として、その背景や分類を含めた記述として最も適切なものはどれですか。（2024年 長崎県公立入試 類似）

1. 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。
2. アルプス山脈などの急峻な地形と豊富な降水量を活かしており、天候に左右されやすい再生可能エネルギーの一つである。
3. 偏西風が強く吹く北海沿岸の気候を活かしており、温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギーの一つである。
4. 地中海沿岸の乾燥した気候と強い日差しを活かしており、枯渇する恐れがある化石燃料の一つである。

問7　ヨーロッパ有数の農業国であるフランスの統計において、小麦の生産量が世界第5位、輸出量が世界第4位となるなど、高い生産力を誇る地域が多く見られます。これらの地域では、小麦などの穀物栽培や飼料作物の生産を行う一方で、牛や豚などの家畜の飼育を組み合わせて行う農業が盛んです。このような農業形態を何といいますか。（2018年 滋賀県公立入試 類似）

1. プランテーション
2. 酪農
3. 混合農業
4. 地中海式農業

問8　ヨーロッパ北西部の沿岸部は、日本の北海道よりも高い緯度に位置していますが、冬の寒さは比較的穏やかで過ごしやすい気候となっています。このような気候が形成される要因として、最も適切な説明はどれですか。（2017年 香川県公立入試 類似）

1. 大陸から吹き出す乾燥した季節風と、沿岸を流れる寒流の影響で上昇気流が発生しにくいため
2. 赤道付近から一年中吹き続ける貿易風が、熱帯の湿った空気を常に運んでくるため
3. 高緯度へ向かって流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹く偏西風の影響を受けるため
4. 低緯度から流れてくる寒流の千島海流と、夏に海から吹き込む季節風の影響を受けるため

問9　フランスの農業的特色について、穀物の生産と貿易の状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2022年 埼玉県公立入試 類似）

1. 地中海沿岸での果樹栽培が中心であるため、主食となる穀物の生産量は少なく、輸入量が輸出量を大幅に上回っている。
2. 高度な集約的農業を行っているが、人口密度が高いため国内消費量が生産量を上回り、穀物自給率は100%に達していない。
3. 乳製品や肉類の生産に特化しているため、家畜の飼料となる穀物の多くを輸入に頼っており、自給率は100%を下回っている。
4. 小麦などの穀物生産が非常に盛んであり、輸出量が輸入量を大きく上回るため、穀物自給率は100%を超えている。

問10　ドイツとイギリスの発電構成を比較した際、ドイツに共通する傾向として、近年特に導入が進んでいる発電形式は何ですか。統計上、ドイツではこの割合が4割を超えており、イギリス（約18%）よりも低い原子力発電の割合を補う形となっています。最も適切なものを選びなさい。（2018年 愛知県公立入試 類似）

1. 天然ガスによる火力発電
2. 水力発電
3. 再生可能エネルギー
4. 石炭による火力発電

問11　北欧のノルウェー沿岸などに広く見られる、奥行きのある複雑な形状をした湾をフィヨルドと呼びます。この地形が形成される主な原因となった作用と、その後の過程について説明したものとして正しいものはどれですか。（2020年 岐阜県公立入試 類似）

1. サンゴ礁が堆積してできた地形が、波の強い侵食作用を受けて複雑な入り江を形成した。
2. 氷河によって削り取られた深いU字型の谷に、海面の上昇や土地の沈降によって海水が入り込んだ。
3. 石灰岩が二酸化炭素を含む雨水によって溶かされ、その窪地に海水が流れ込んで形成された。
4. 河川の侵食によってできたV字型の谷が、海面の上昇によって海水に満たされて沈水海岸となった。

問12　多くの先進国で少子高齢化が課題となる中、フランスは比較的高い出生率を維持していることで知られています。2022年の統計に基づくフランスの人口ピラミッドの形状について、各年齢層の分布状況を説明したものとして最も適切なものはどれですか。（2026年 鹿児島県公立入試 類似）

1. 15歳未満の年少人口が極端に減少せず、底辺にある程度の厚みを保ったつぼ型から釣鐘型に近い形状
2. 出生率が非常に高く、底辺が横に大きく広がり頂点に向かって急激に細くなる富士山型の形状
3. 生産年齢人口である都市部への流入層のみが突出し、上下の年齢層が極端に少ない星型の形状
4. 若年層が極端に少なく、老年人口の層が横に大きく張り出した逆三角形に近い形状

答え合わせ・解説

問1	答え 3 国際河川	複数の国の領土を貫いて流れ、条約によってどの国の船舶でも自由に航行できる河川を国際河川と呼びます。ヨーロッパではライン川やドナウ川、東南アジアではメコン川などがその代表例です。これにより、海に面していない内陸国でも、河川を通じて海へアクセスし、貿易を行うことが可能になります。
問2	答え 3 地中海性気候	温帯の中でも、夏季に亜熱帯高圧帯の影響を受けることで乾燥し、冬季に一定の降水が見られるのが地中海性気候の大きな特徴です。降水量と気温の動きが逆転するように見えるこのグラフの形は、イタリアのローマなど地中海沿岸の都市で顕著に確認されます。
問3	答え 1 イタリアやフランス、スペインなどの南ヨーロッパを中心に話されており、古代ローマ帝国の拡大とともに発展した。	ラテン系言語は、ローマ帝国の支配領域であった南ヨーロッパを中心に定着した言語グループです。イタリア語、フランス語、スペイン語、ポルトガル語などがこれに該当し、古代ローマの公用語であるラテン語を共通の祖先としています。大航海時代以降には、スペイン語やポルトガル語が中南米（ラテンアメリカ）にも広まりました。英語やドイツ語はゲルマン系、ロシア語やポーランド語はスラブ系の言語です。
問4	答え 1 シベリアなどの内陸部にある鉱産物埋蔵地から、ヨーロッパ方面に向けて敷設されたパイプラインを利用して、EU諸国へエネルギーを供給している。	ロシアの主要な油田やガス田はウラル山脈の東側などに点在しており、そこから西側の消費地へと長大なパイプラインが建設されています。このパイプライン網は国境を越えてEU諸国まで繋がっており、ロシアは「ヨーロッパのエネルギー庫」としての役割を果たしてきました。このように、特定の資源に依存する経済構造は、国際情勢の変化による影響を受けやすいという側面も持っています。
問5	答え 4 域内全体の経済を活性化させるため、国境をこえて人々が就労し、企業が投資を自由に行えるようにしている	EUは、国境という壁を取り払うことで、ヨーロッパ全体を一つの巨大な経済圏にすることを目指しています。人、物、資本、サービスが自由に移動できるようになることで、労働力の確保や企業の事業展開が容易になり、加盟国全体の競争力が向上します。関税の引き上げや移動の制限は、この統合の理念とは相反するものです。
問6	答え 1 火山が集中する地域の熱エネルギーを利用しており、二酸化炭素の排出が少ない再生可能エネルギーの一つである。	地熱発電は、火山の熱という自然界に存在するエネルギーを繰り返し利用するため、太陽光や風力などと同様に「再生可能エネルギー」に分類されます。アイスランドやイタリアのようにプレートの活動が活発な地域では、この自然の利点を活かして環境負荷の低い電力を得ることが可能です。他の選択肢にある水力、風力、太陽光も再生可能エネルギーですが、火山の分布と直接関係するのは地熱発電のみです。
問7	答え 3 混合農業	ヨーロッパの平原部、特にフランスやドイツなどで広く行われている農業形態です。主食となる小麦などの穀物栽培に加え、家畜のえさとなる飼料作物の栽培、そして牛や豚などの家畜の飼育をひとつの農家が組み合わせて行います。これにより、農地の地力を維持しながら、穀物と畜産物の両方から収益を得ることができます。
問8	答え 3 高緯度へ向かって流れる暖流の北大西洋海流と、その上空を一年中吹く偏西風の影響を受けるため	ヨーロッパの気候を理解する上で、暖流と偏西風の組み合わせは非常に重要です。低緯度から北上してくる北大西洋海流（暖流）によって温められた空気は、一年中西から吹く偏西風に乗ってヨーロッパ大陸へと運ばれます。このため、緯度の高さのわりに冬の気温が下がりにくいという特徴があります。季節風（モンスーン）は日本を含む東アジアの気候に大きな影響を与えるものであり、ヨーロッパのこの現象とは異なります。
問9	答え 4 小麦などの穀物生産が非常に盛んであり、輸出量が輸入量を大きく上回るため、穀物自給率は100%を超えている。	フランスはEU（欧州連合）最大の農業生産を誇る国です。広大な国土を活かした大規模な機械化農業が行われており、特に小麦の生産と輸出において世界的に重要な地位を占めています。統計資料などでは、輸出額が輸入額を大きく上回る「輸出超過」の傾向と、100%を大幅に超過する穀物自給率がフランスを特定する際の重要な指標となります。
問10	答え 3 再生可能エネルギー	ドイツは環境先進国として、太陽光や風力などの再生可能エネルギーの導入を強力に推進してきました。その結果、発電構成における再生可能エネルギーの割合は40%を超える水準に達しており、脱原発と脱石炭を同時に進めるための重要なエネルギー源となっています。
問11	答え 2 氷河によって削り取られた深いU字型の谷に、海面の上昇や土地の沈降によって海水が入り込んだ。	フィヨルドは、かつて厚い氷河に覆われていた地域で、氷河が移動する際の強い侵食力によって削られた急峻な谷（U字谷）が、海面の上昇や土地の沈降によって海水の下に沈んだ「沈水海岸」の一種です。選択肢にある「河川の侵食によるV字谷」が沈水してできた地形は「リアス海岸」と呼ばれ、氷河の影響を受けていない三陸海岸などで見られる特徴です。
問12	答え 1 15歳未満の年少人口が極端に減少せず、底辺にある程度の厚みを保ったつぼ型から釣鐘型に近い形状	フランスでは、家族手当の充実や出産・育児に対する手厚い公的支援、仕事と家庭の両立を支援する社会制度（コンセルト・シ・デ・ヴィなど）が整っています。この結果、他の先進国に比べて出生率が維持されており、人口ピラミッドの底辺にあたる年少人口が急激に細ることなく、全体として各層のバランスが取れた形状を維持しています。